

会 議 録

1 会議名

平成30年度第9回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【諮問事項】

（仮称）旧直江津銀行の管理の在り方について（公開）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

平成30年10月16日（火）午後6時00分から午後7時20分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、
青山義一、伊藤邦雄、河野健一、小林克美、坂井芳美、田中美佳、
田村雅春、中澤武志、町屋隆之、丸山朝安、水澤敏夫（欠席4名）
- ・ 事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長
文化振興課：岩崎課長、大友副課長、松永係長、柏村主任

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山恭造会長】

- ・ 挨拶

・会議録の確認：町屋委員、水澤委員に依頼

議題【諮問事項】(仮称)旧直江津銀行の管理の在り方について、担当課へ説明を求める。

【文化振興課：岩崎課長】

・挨拶

・資料No.1「(仮称)旧直江津銀行の管理の在り方について(諮問)」に基づき説明

【青山恭造会長】

説明に対し質疑を求める。

【田村委員】

開館後は、どこかの業者が管理を請け負うのか。

【文化振興課：岩崎課長】

現段階では団体等へ委託したいと考えている。

【田村委員】

利用者の希望にもよると思うが、夜間は開いているのか。

【文化振興課：岩崎課長】

基本的には午後5時までとなっているが、3日前までに連絡をいただければ対応できるようにしていきたいと考えている。

また、地域の方々が参加するようなイベント等にも対応できるように午後10時までは利用可能としたい。だが、船見公園の駐車場を使用するため午後10時までとさせていただきたい。

【増田副会長】

先ほど「管理は団体へ委託する」と言っていたが、委託の種類はどうなるのか。

【文化振興課：岩崎課長】

指定管理ではなく一般的な委託を考えている。

【増田副会長】

当施設は建設当初から相当な金額が掛かっている。開館日は土日祝日だけで良いのかと思ってしまうが、資料を見ると希望があれば平日も利用可能だということなので、多くの市民から利用していただけるような工夫をお願いしたい。

【文化振興課：岩崎課長】

地域の方々からの意見も参考にし、今後も活用方法を考えていきたい。

【小林委員】

施設名はどのようなものを考えているのか。

【文化振興課：岩崎課長】

現在、市で検討している最中である。当施設についてはいろいろな歴史があり、どのような名称が良いのかをトータルで考え決めていきたい。

【青山恭造会長】

ほかに何かあるか。

(特になし)

それでは、「(仮称) 旧直江津銀行の管理の在り方について」諮問のとおり、適当と認める方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、適当と認める。

今後も地域の皆さんから親しまれるような施設としていただくようお願いしたい。

— 文化振興課 退室 —

では、次に【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

前回の地域協議会において、資料No.2の意見を踏まえ全体協議をしていくこととなった。本日は、優先的に協議する課題を整理していただきたいと思う。ただ、本日で整理できなければ次回以降も継続して協議をしていただきたい。

また、前回の協議会で、うみがたり開館後の状況について担当課から説明を受けたいという意見をいただいたが、次回以降、早い段階で担当課より説明を受けられるように調整している。

【青山恭造会長】

直江津まちづくり構想については、いろいろな意見が出ており、まとめづらいテーマとなっているため、資料No.2の班ごとに出た意見に基づき話を進めていきたいと考えている。

別件だが、10月23日(火)午前10時からJT跡地に建設する施設の安全祈願祭が行われる。そこへ直江津区地域協議会長として出席させていただくことを報告させていただく。

いよいよ建設がスタートされるが、駐車場問題等もあるので、この点も踏まえ注視していきたい。

【町屋委員】

水族博物館が開館する前は「水族博物館が直江津区の最後の砦」というような話があり、北陸新幹線が開通する前は「上越市の最後の起爆剤」というようなことが言われていたが、蓋を開けてみたら平常通りのことが多く、良いことも悪いこともあった。そのことについてどうこう言うわけではなく、あまりそこにとらわれない地に足を付けたまちづくりをしたほうが良いのではないかと考えている。

起爆剤等にとらわれない普遍的なまちづくりについて話し合っていき、商業的なまちにするのか、観光的にして人が来てくれるようなまちにするのか等、もっと地に足が付いた話し合いをしていけたらと思う。その中で小学校の統廃合の話も大きな問題として出てくるのではないかと考えている。

【田村委員】

昨年、視察研修として群馬県富岡市へ行ってきた。その際、道路に絵が描いてあり動線がはっきりしていた。小道にも分かり易く描かれており非常に感心したことを覚えている。それと同じようなものは直江津にできないのか。直江津区に住んでいる住民が「住んでいて良かった」、直江津に来てくれた人が「来て良かった」と思えるようなまちにしたいということを各班でも触れているので、これも一つの考えだと思っている。

【竹内副会長】

2班の課題として「高齢者にとってのやさしいまちづくりと見守り体制の強化」とあるが、各町内の状況が分からない。各町内で見守りや高齢者に対する活動等があるのかどうなのか教えていただきたい。

【中澤委員】

全体のことだが、この場はどういうふうに何を中心に話をしていくべきなのかということを決めないと、話の輪が広がっていつまでも終わらない。

私が考えていたのは、新潟県塩沢町にあった新幹線の駅がなくなったら、人もいなくなってしまうということである。ただ、まちが綺麗になり、建物が建ち、観光パンフレットでも盛んにPRしている。直江津もそういうまちになりつつあるのではないかと考えている。

高齢者に対しての見守り活動について話し合うのも良いが、「何をどうして、どうしたいのか」という部分は何となく着地点が見えるが、「誰が、どこで、いつやるのか」とい

う部分の着地点が見えない。そこを詰めていかないと話が進まないのではないかと。

【町屋委員】

私たちがこの場で各町内のことを話し合う以上は、町内について調べたり、町内会長との意見交換の場を設けたり、聴いてきた意見等をまとめて一覧にして出すとかしなければいけないと思うが、まず、現状を把握することが一番大事なのではないか。町内によって重点的にやっていること、やっていないことがあるのなら、普遍的な部分にまで引き上げるのはどうか。小学生の登下校時に町内の方々が自主的に見守り活動を行ってくれているが、やっていない町内もあると思う。

町内会毎に行っている活動が違うと思うので協議会側から町内会長へ聴くか、この場にお越しいただき意見交換の場を設けていただかないと先へは進めないのではないかと。

【丸山委員】

私の町内の小学生の見守りについては出ていただける方々をお願いしている。

最初は65歳になった方々へ町内会長がオレンジ色のベストを配って行っていただいていたが、行っていくうちに出てこない方々が出てきたので、現在はやっていただける方をお願いしている。

【田村委員】

一番大々的に行っているのは石橋1、2丁目ではないか。登下校時、町内の見守りの方々が全ての交差点に立っている。また、ミニパトカーが狭い通路を巡回してくれている。

【伊藤委員】

国府小学校で車上荒らしがあり、学校側から町内会や後援会にどのように対応すれば良いか相談があった。教育委員会へも相談したが、防犯カメラについては設置することはできないという返答があった。

防犯カメラについては設置すれば良いと思うが、プライバシーの問題で無理なところが出てくるのだろうと思っている。

そして、見守り活動については平成15年から青年会のOBで4月から10月までの間、防犯を兼ねて2人1組で毎週夜警を行っており、朝方と夕方は毎日1人ずつ出ている。そして、女性の方々は2人1組を4組作り、週に1回ずつ見回りをしている。そういった各団体を作り現在も続けている。小学校区の防犯組合の関係で県から表彰を受けたり、町内会も表彰を受けたりしている。五智地区でも踏切近辺や交差点を重点的に行

ってくれており、活動しているところはたくさんある。オレンジ色のベストを着て巡回することは抑止力があり、市もそれを強調したいのだと思う。

【水澤委員】

五智地区では15町内からなる交通安全協会でも活動を行っている。

【青山義一委員】

今日は自主的審議事項のテーマを探すという話から入った気がするが、小学校の統合、高齢者の見守り体制、そして大部分の時間が子ども達に対する見守りの話になっている。

テーマを決めることに時間を要しているので、見守り活動に寄ったテーマになるのか、どうなるのかと思って聞いていた。

【田中委員】

前回の協議会で、資料No.2に挙げられている意見に対して全体協議を行うことになったかと思うが、漠然としていて、何について話をしていくのかが決まっていなように思っている。ほかのことも大事だと思うが、テーマを1つに絞って話し合いを行っていくのはどうか。いつも違う方向になってしまい、どこが主なのかが分からず、どういう方向に話を進めたいのかも分からなくなってしまう。

【増田副会長】

「自主的審議事項とは何か」という原点に戻らなくてはいけないと思う。皆さんは何かテーマを決めて話し合いを行わなくてはいけないと思込んでいると思うが、自主的審議事項というのは地域の課題を解決するために何を議題にして地域協議会としてどういう役割を果たしていくかということが基本であり、地域の課題とは何かということが原点である。地域協議会委員では地域の課題が把握できなかつたら、どこかからアドバイスをもらったり、アンケートを取ったり、いろいろな方法があると思う。要するに地域の皆さんが抱えている課題を地域協議会もお手伝いして一緒に解決していこうというのが地域協議会の役割だと思うので、「これがテーマ」だと決められなくても、いろいろな話が出てくる中で地域の人たちは何が一番困っているのかということ話を合行けば良いのではないかと。今日中にテーマに決めるという話ではないので、とりあえずは皆さんが考えていることを自由に出していただきたいということである。

【町屋委員】

テーマを決定したとしても、それを実現するのに何年もかかるのであれば掲げた目標だけで終わってしまうと思う。課題の抽出は常に行っているが、抽出だけを行っている

ので今日出てきたお話の中でいろいろな疑問が出てきた。次のステップとしては疑問に対する現状把握をすることが前に進むということなのではないか。次回の協議会もまとめてもらったものを話し合っただけでは結局前に進まない。常に課題の抽出だけしかしていないことになる。

【小林委員】

私の家は駅の近くにあり、スーパーや学校も近く特に困っていることはない。では課題は何かとなると、子どもが少ないということである。だが、それを言ってもどうしようもない話である。若い方々は祇園祭等には参加してくれるが、普段生活している生活圏の中に若い方々はほとんどいない。

【青山恭造会長】

どこかの県で税制を優遇し、子育てに関しても援助してくれ、若夫婦が住みやすいまちづくりを行っている地域がある。新しい知恵を持っている市町村があるので、そこへ行って勉強してくるのも良いのかもしれない。

【町屋委員】

それは極論なのではないか。限界集落はお金を払ってでも良いから若い人たちに定住してほしいということで、出産したらお祝い金が出たりする自治体がある。だが、直江津はそこまでの状況ではないため、周りの方々は理解してくれないと思う。子ども手当や高校の教育費無償化に対しても子育て世代はお金が掛かるから優遇はうれしいが、子育てをしていない世代は反対すると思う。そう考えると住民の方々からの理解は得られないだろうと思っている。

【青山恭造会長】

諏訪区地域協議会では東京から移住者を歓迎するというテーマで取り組みを行っている。直江津区で同じようなことが合うのか、合わないのかも含めて話し合いながら進めていきたい。

【田村委員】

直江津区で懸念していることは、自分の土地を持っていない人が多いことだと思っている。だから若い人たちは自分の土地じゃないから住まないということなのではないか。

【中澤委員】

東雲町は子どもが多く、祇園祭にも多数参加しているところを見るが、私の町内は限界集落化しており、平均年齢は60歳を超えている。町内会の運営も厳しい。だが、喫

緊の課題にはなりづらい。

【青山恭造会長】

直江津地区町内会長連絡協議会として何かテーマを取り上げているか。そして、行政へお願いしていることはあるのか。

【中澤委員】

駅前にレンタカーの店舗があるが、その隣の道路の拡幅をお願いしている。

【青山恭造会長】

五智地区はどうか。

【伊藤委員】

現在は、道路の道幅が狭いため、水族博物館の開業に伴い、回遊できる道路にしたいとお願いをしている。

【青山恭造会長】

青少年文化センターの跡地はどうなったのか。

【伊藤委員】

現在は駐車場として舗装された。

あとは、交通公園の管理棟の改築をお願いしている。現在、小さな子どもを連れてきてもおむつ交換等ができない状態なので、いろいろな方々が利用しやすい管理棟を造っていただけないかと陳情している。

【田村委員】

新光町では、市役所の交差点から直江津中学校までの間、歩道を拡幅してほしいというのを長年陳情している。そして、一昨年、直江津中等教育学校へ子ども達が自転車で通うために白線を引いたが、そのおかげで車は徐行してくれている。

【町屋委員】

街灯のLED化についてだが、直江津区のLED化率はどれくらいなのか。

【中澤委員】

8割くらいは更新されているのではないかと。

【丸山委員】

道路の拡幅の話が出ているが、(株)ヤザワの横の通りから駅に向かうための道路ができるという話を聞いたことがあるが、その話はなくなったのか。

【小林委員】

その関係で田村委員に確認だが、駅前から(株)ヤザワに出てくる道路の図面はあるが、全く工事に取り掛かっていない。何故かと聞いたら国鉄時代の大事な線が地下に埋まっ
ていてそれを撤去するのにかなりの費用が掛かるとのことであった。

【青山恭造会長】

事務局で分かるようなら確認していただきたい。

【滝澤センター長】

承知した。

【町屋委員】

雁木の高低差が問題になっているが、解決するために何か策があるのかと思う。個人
の土地なので個人で対応しなくてはいけないのか。直江津を住みやすいまちにするので
あれば、少なくとも高低差をなくしたほうが良いと思っている。

【中澤委員】

雁木の問題は町内会の問題ではなく、行政が動かなくては何も始まらない。

【増田副会長】

雁木の問題については個人の土地のため、全ての所有者から了解を得なければならな
いため難しい。高田は雁木の新設と改修に補助金が出るが、全ての段差が解消されてい
るわけではない。いろいろな問題はあるが、雁木がなくなるということのほうが問題で
ある。

そして、空き家問題だが「あなたの町内に危険な空き家がありますか」という調査が
市役所から来ている。いずれは単に空いていて住む予定のない空き家がないかというこ
とを調べないといけないと思っている。

【町屋委員】

雁木の件だが、以前、私の家を建て替える時に道路から何m下がって建ててくださ
いと言われ、それに従わないと建築許可が下りなかった。何故かと言うと、前の通りを
拡幅する予定があり、その際に取り壊しにならないようにということだった。建築に際
し条件を付けられるのであれば、これから建てる家は雁木の基準点等を設けていただけ
れば将来的に平らになるのではないか。

先ほど増田副会長が、雁木がなくなるほうが問題だとおっしゃっていたが、段差があ
るほうが問題だと思っている。

【増田副会長】

問題は障害があるかどうかを私たちが正確に把握していないということである。私たちが障害だと思っけていても、そこに住んでいる人たちは大変だと思わないかもしれない。

【町屋委員】

私が子どもの頃は段差があるのは当たり前だと思っけていたが、私の父親が雁木を大変そうに歩いているのを見てお年寄りにとっては優しくないまちだなというのは感じている。

【中澤委員】

以前は高低差が生じていても、スロープを造っていただき少しは解消されている場所もあると思う。

【青山恭造会長】

いろいろな意見が出ているが、次回以降も話し合いを進めていただきたいと思う。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・ 次回協議会の事務局案：11月20日（火）
- ・ 次回以降も自主的審議事項の協議を進め、新水族博物館整備課からうみがたり開業後の状況について説明予定
- ・ 地域活動フォーラム：12月16日（日）に開催することを報告

前々回の会議の際、田村委員から直江津学びの交流館の駐車場について質問があったので報告させていただく。

現在、既存の駐車スペースのほか、玄関前のレンガのスペースに午前10時から午後5時までの間、臨時駐車場として8台分駐車できるようになっているとのこと。ただし短時間の利用に御協力をいただけており、基本的には直江津駅南口の駐車場を利用していただくように看板を立てて案内している。

【青山恭造会長】

- ・ 次回協議会：11月20日（火）午後6時から
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。